



望洋台小だよい

<学校の教育目標>

- 自ら考え 工夫する子 ○思いやりのある 優しい子
- 進んで行動し やりぬく子 ○明るく 健康な子 ○協力し 働く子



学校 HP

R7.11.7 No.7

(通算 586 号)

小中一貫教育の推進

～「ふるさとを愛し、未来に向かってたくましく伸びる子ども」を目指して～

校長 脇本 麻友美

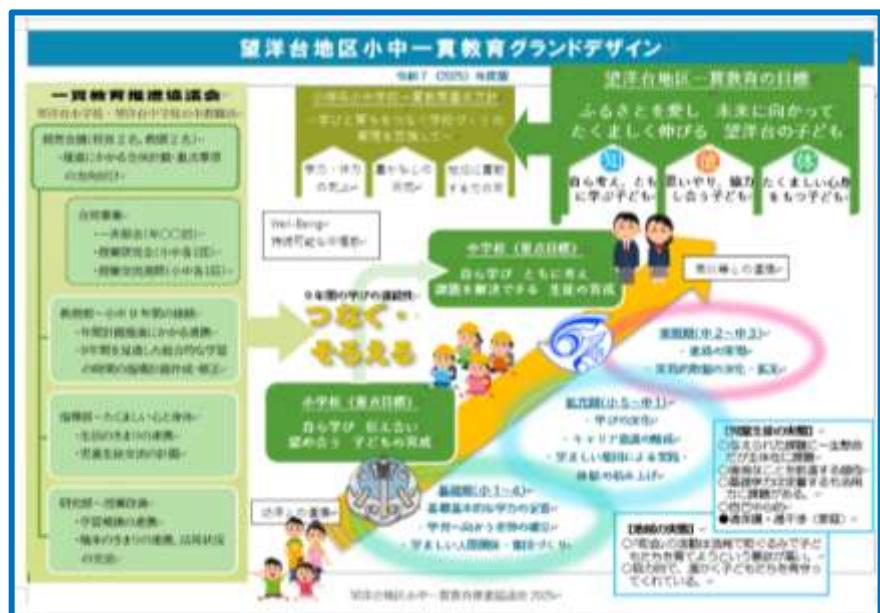
学校近くの木々の紅葉も一気に進み（中には葉が全て落ちてしまった木も見られますが・・・）朝夕の冷え込みと共に秋の深まりを感じる季節となりました。10月25日（土）に、子どもたちの学びの成果を披露する「学習発表会」が終了いたしました。保護者の皆様には、ご多用の中ご来校いただき、温かい拍手と励ましの言葉を賜り、心より感謝申し上げます。また、ヒグマ出没に関わる急な対応変更にもご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

子どもたちは、スローガンのように「心を一つに」日々の学習で積み上げてきた成果を、朗読を中心とした劇や器楽合奏、社会科や総合的な学習の時間のまとめ等々、学年の発達段階に応じた内容や表現方法で発揮し、みんなが主役の学習発表会となっていましたことだと思います。「リズムなわとび」につきましても、今年も学習の積み上げの一環として演目の中でご覧いただきました。全学年のなわとびを見ていると、その学年までの積み上げがよく伝わって来たと同時に、望洋台小学校で受け継がれてきている「なわとび」の伝統を強く感じました。低学年の児童にとって高学年の発表は「自分も高学年になったら、こんな跳び方が出来るようになるんだ」という、憧れと目標になっていたことだと思います。今年も、全演目を通して精一杯頑張る子ども達から、たくさんの感動をもらった学習発表会になりました。発表会を終え、子どもたちは達成感とともに、次の目標に向かって歩み始めています。これからも、子どもたち一人ひとりのよさを大切に、温かく見守り支えていきたいと思います。保護者の皆様、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、小樽市では全中学校区において、

①学力・体力の向上②豊かな心の育成
③地域に貢献する力の育成を目指し、小中一貫教育を推進しています。望洋台小学校は望洋台中学校と連携し、小中一貫教育の目標を「ふるさとを愛し、未来に向かってたくましく伸びる子ども」とし、9年間の学びをつなぐ取組を進めています。小学校低学年の「基礎期」では、学習への姿勢や人間関係の基礎を築き、中学校年から高学年にかけての「拡充期」では、キャリア意識や集団での実践力を育みます。そして中学校の「実現期」では、進路を見据えた主体的な学びへとつながっていきます。小中が連携し、9年間のゴールを見据え教育活動を行うことで、教育の方向性にも一貫性が生まれ、子どもたちのより確かな成長へと繋がっていきます。

また、小中が生徒指導や教育相談などの連携を図り、児童・生徒一人ひとりを長いスパンで支援していくこと「中1ギャップ」など学校種の違いや発達段階で生じる子どもの不安や負担を軽減し、子どもたちが安心して通える学校環境づくりを進めることができます。学校では、引き続き小中教職員間の連携や児童会・生徒会の交流、及び9年間を通してした教育課程の編成や生徒指導の充実など様々な活動を推進することで、9年間の学びと育ちをつなぐ教育活動を推進して参ります。望洋台地区の子どもたちを地域の宝とし、教職員はもちろん、学校運営協議会（コミュニティスクール）の活動も合わせ、地域・家庭・学校が一体となり見守り育んでいく、そんな取組にしていきたいと思いますので、今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



学習発表会を終えて～心を一つに楽しい思い出をつくろう～

先日の学習発表会では、子ども達が協力し合い、朗読や器楽演奏、縄跳びなど堂々と発表する姿が見られました。総合的な学習の時間の発表も、主体的に学ぶ姿勢が感じられ、充実した内容でした。子どもたちが得た達成感や協力の大切さを、今後の学校生活に生かしていくよう、学校では日々の活動の中で支援を続けてまいります。ご家庭でも温かい励ましをお願いいたします。



ヒグマ対応へのご協力ありがとうございます

10月20日に校区内でヒグマの出没が確認されて以来、保護者の皆様には送迎対応のご協力をいただきありがとうございます。依然として市内ではヒグマの出没情報があり、予断を許さない状況ではございますが、今後も望洋台中学校と連携を取り、混乱のないように対応してまいります。また、先日、学校運営協議会（CS）の合同研修会で、小樽警察署の地域課長様・渡部様にヒグマ対応の講話をに行っていただきました。その内容について11月1日（土）配信のテトルにてまとめの動画のURLを記載しておりますので、ご覧いただき被害の未然防止にお役立てください。

オンライン授業について

インフルエンザ等により出席停止となった場合でも、熱が下がり症状が軽くなり、学習に支障がないと判断される場合には、出席停止期間中でもオンラインで授業に参加する事が可能です。希望される場合は、学校までご連絡ください。

6年生キャリア教育 出前授業～医師の仕事から学ぶ、未来への一步～

10月下旬、6年生はキャリア教育の一環として、小樽協会病院産婦人科医・黒田様を講師に迎え、出前授業を行いました。医師としての仕事や命の誕生に関わる責任、やりがいについてのお話に、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。医師になるまでの努力や人の関わりの大切さを知り、働くことの意味や将来の職業について考える貴重な機会となりました。講話を通して自分の将来に対するイメージを広げることができた子どもたちの姿が印象的でした。



望洋台町会広報誌・愛称コンテスト表彰式

望洋台町会が募集した町内会広報誌の愛称コンテストで、6年1組の齋藤柚葉さんの作品「みんなの町 望洋台」が最優秀賞に選ばれました。

表彰式には望洋台町会長の勝俣様、副会長の横尾様をお招きし、温かい雰囲気の中で行われました。町会からは感謝の言葉が送られ、地域と学校のつながりを感じる貴重な機会となりました。



第11回ポエムコンクール表彰式

第11回子どもの詩コンクールの表彰式が行われ、4年1組の小林未玲菜さんの「海の生き物のように」が銅賞、6年1組の吉本葵さんの「せんぶうき」が優良賞を受賞しました。おめでとうございます。自分の思いや感じたことを言葉で表現する力はこれから学びにおいても大切な力です。次年度も、子どもたち一人一人が感じたことを大切にしながら、たくさんの作品づくりに挑戦してほしいと思います。

